

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 一般国道10号 <small>のべおか</small> 延岡道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局
<b>起終点</b> 自：宮崎県延岡市北川町長井 至：宮崎県延岡市伊形町	<b>延長</b> 20.6km	
<b>事業概要</b> 延岡道路は、国道10号の交通混雑を緩和するなど、バイパス的機能を持つ規格の高い自動車専用道路として計画され、既に供用している延岡南道路と接続し、宮崎県北地域の骨格を成す道路となり、産業や経済の発展・文化交流等地域開発の促進、地域の活性化、また将来的には東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線と一体となって、高速交通ネットワークを形成する重要な高規格幹線道路である。		
H6年度事業化	H6年度都市計画決定 (H20年度変更)	H8年度用地着手
H10年度工事着手		
<b>全体事業費</b> : 1,187億円   <b>事業進捗率</b> : 45%   <b>供用済延長</b> : 7.8km		
<b>計画交通量</b> : 9,800 ~ 23,300 台/日		
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> : (事業全体) 1.2 (残事業) 1.6	<b>総費用</b> : (残事業)/ (事業全体) 408/1,080億円 (事業費 : 374/1,032億円 維持管理費 : 34/48億円)
		<b>総便益</b> : (残事業)/ (事業全体) 646/1,270億円 (走行時間短縮便益 : 530/1,033億円 走行経費減少便益 : 67/141億円 交通事故減少便益 : 49/96億円)
<b>基準年</b> : 平成20年		
<b>感度分析の結果</b> : 残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=1.7 (交通量+10%) B/C=1.4 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=1.5 (事業費+10%) B/C=1.7 (事業費-10%) 事業期間変動 : B/C=1.5 (事業期間+20%) B/C=1.7 (事業期間-20%)		
<b>事業の効果等</b> ・安全で安心できる暮らしの確保（県立延岡病院（第三次医療施設）へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（重要港湾細島港へのアクセス向上が見込まれる） 他9項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 延岡道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、延岡市をはじめとする関係市町の首長等で構成される各種期成会等から、毎年早期整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 延岡JCT～延岡南IC間（2工区）の暫定供用（H17.4）により若干の緩和効果が得られたものの、沿線地域での自動車依存の高まり等を背景に、市街地において依然交通渋滞を引き起こしている。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成19年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約45%であり、そのうち用地進捗率は約94%に達している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 北川IC～延岡JCT間（1工区）については、平成24年度の暫定供用を目指し鋭意事業を推進する。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 設計の総点検を含め構造形式の見直しを実施し、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b> : 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。